

統合リスク管理入門（1）

統合リスク管理研究会

近年「統合リスク管理」に対する注目度が高まってきた。そろそろ本腰を入れて取り組まねばと考えている銀行が増えてきたように思われる。しかし、取り組まねばと考えている理由と統合リスク管理が目指す目的とが本当に一致しているのかという疑問が湧いてくる。統合リスク管理が目指す本当の目的を確認するために、銀行における収益管理及びリスク管理の歴史を追ってみよう。

銀行における収益管理と リスク管理の高度化推移

◆高度経済成長期

規制金利と業務分野規制により安定した利幅が確保され、残高を増やせば収益を上げることが連動して出来たため、収益管理は「ボリューム管理」そのものであった。またリスク管理に関しては、日本経済の右肩上がりの成長期には企業倒産が少なく、不動産の担保価値も高く、銀行保護の面からも重視されることはなかった。

◆バブル期

バブル期に入って金利規制が段階的に緩和されたが、収益指標がボリュームだったため、競争力を保つために薄利多売への傾向が高まった。また収益力の強化や業務領域の拡大から手数料収入の重要性が増した。このことから単純な「残高」のボリューム管理から「金利」や「手数料」を加味する粗利益管理へと管理指標が変わっていった。リスク管理においては、金利規制の緩和と共にかねてからの円高が続く中、投資ブームが起こったが、国内の産業界への投資資金が飽和状態を迎え不動産や株式に莫大な資金が流入した。銀行だけにとどまらず、さまざまな潜在的リスクが拡大していった時代である。

◆バブル崩壊期

バブル期に銀行がこぞって融資した土地取引関連業態への貸付は、バブル経済崩壊

後の土地価格の急落によりその多くが不良債権化し銀行経営を圧迫した。そして、バブル期に蓄積された潜在的リスクが、顕在化されることによって、銀行の健全性は低下し、信頼は大きく揺らいだ。こうした危機に直面し、政府は日本版金融ビッグバンを掲げさまざまな改革を遂げてきた。

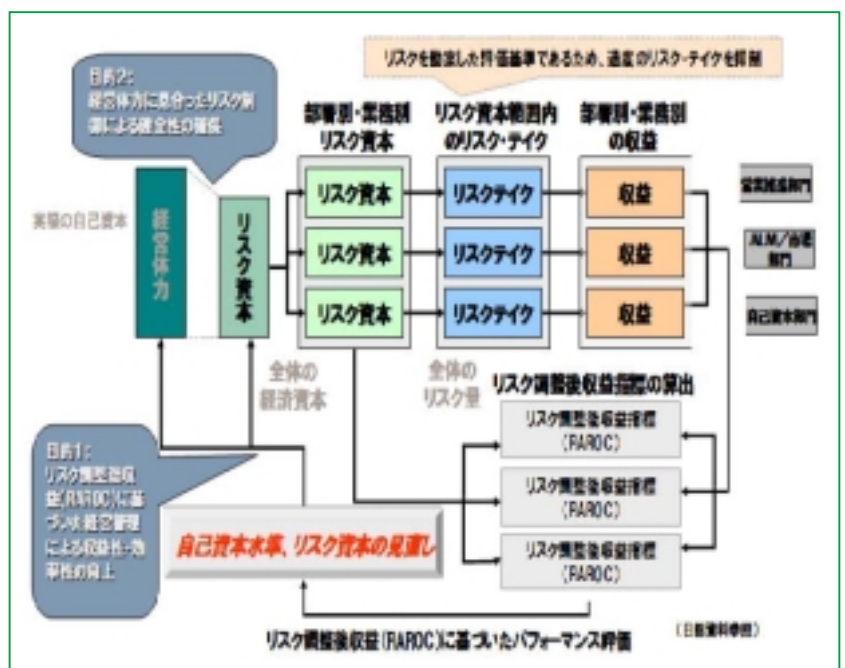
中でも、銀行においては健全化の指標となる自己資本比率を維持すると共に、不良債権処理の原資として更なる利益を確保する必要性が高まった。「信用コスト」(リスク)を控除した後に、顧客や営業店が最終的にどの程度の利益をもたらすかを捉えるため「経費」を控除した、「信用リスク控除後利益」管理へと更なる進化を遂げた。統合リスク管理の誕生である。

統合リスク管理

現在、銀行に期待されることは、

1. リスク調整後収益に基づいた経営管理による収益性・効率性の向上
2. 経営体力に見合ったリスク制御による健全性の確保である。

これらの目標を遂行するためには、銀行の各部門のリスク量に応じた資本配賦を行い、健全性を保ちつつもリスクを取りながら収益を向上させていくことが必要である。



これまでリスクの種類や部門ごとのリスク管理を行ってきたが、部分最適や部門最適では銀行全体の経営判断を行うことは出来ない。そこで、リスクの種類、部門をこえたリスク・リターンの状況を総合的に判断することが出来る経営判断ツール、統合リスク管理が求められる。

統合リスク管理をより良い経営判断ツールにするために大切なことは、

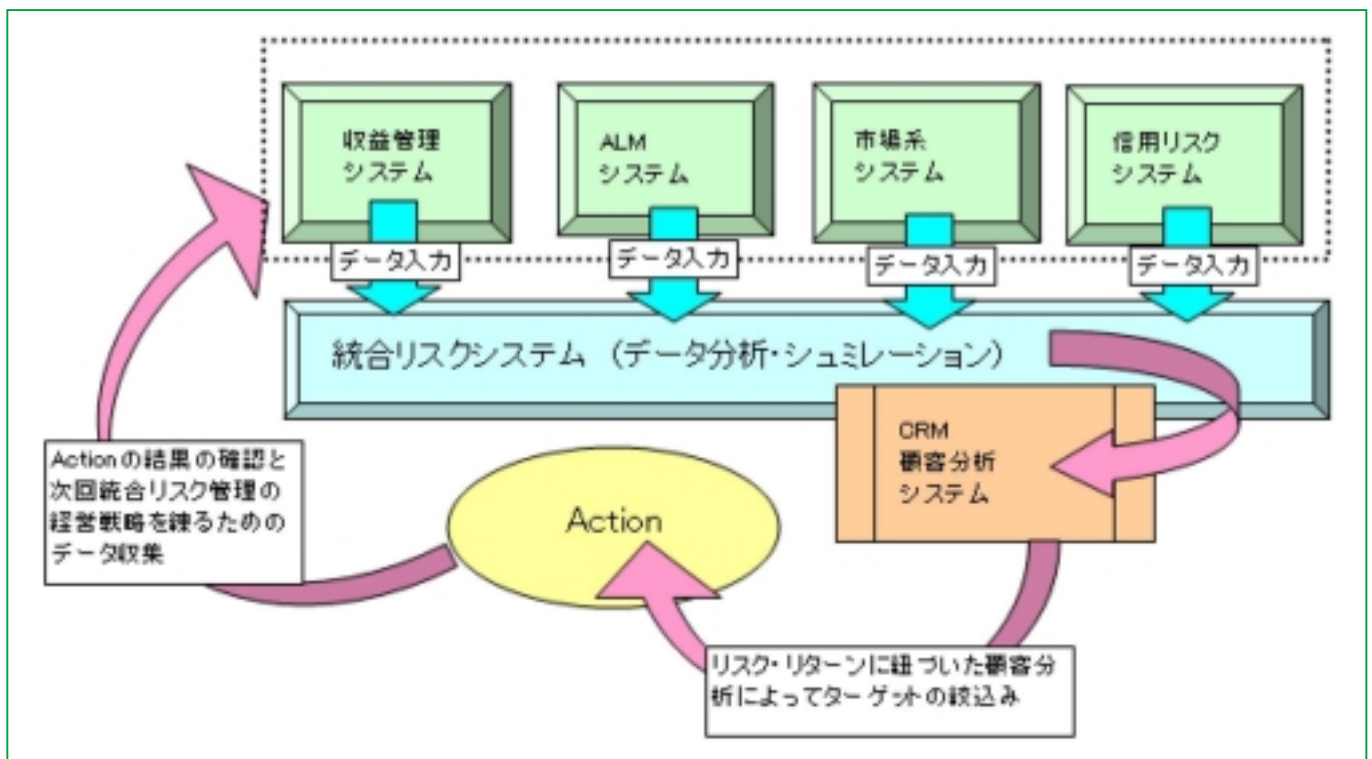
- ①収益管理とリスク管理の同一指標による紐付け
- ②精緻なコスト計算
- ③リスク量の算出方法とそのためのパラメータ設定

があげられる。

これらがより精緻に計測出来るほど、粒度が細かい

ほどさまざまな切り口や角度から、銀行経営戦略に役立つバリエーションを増やすことが出来るといえる。とはいえ、現在の銀行は、さまざまな商品構成、複雑な組織体系によって情報の取得が容易でない場合も多い。複雑な計算方法にこだわりすぎたために膨大な時間や費用がかかりすぎて現実的でない統合リスク管理を目指しても意味がない。現状システムとの整合性や運用のしやすさなどを考えた銀行内でのルール設定、システム導入の検討が必要である。

なぜなら、統合リスク管理の目的は、決して規制対応としての金融行政の報告書の作成のためだけではなく、健全性を保ちつつ必要なリスクをとりながらも収益を上げていくこと。つまり、銀行の繁栄のためのツールに他ならないからである。



あべれいじのコーナー

金融界の「あべれいじ」ってどんな人？

「あべれいじ」さんは決してスーパースターではなく、金融ビジネスに携わる平均的な人間です。しかしながら、未だ、その姿は見えていません。そこで、読者の皆様をお願いします。皆様の投稿によって金融界の「あべれいじ」さんを作り上げたいと思います。一緒に作ってませんか？

- ・ どうか男性のようである
- ・ 年齢は？
- ・ 勤務先の業態は？
- ・ 所属部署は？
- ・ 勤続年数は？
- ・ 独身、既婚、離婚歴あり？
- ・ 既婚だとすれば家族構成は？
- ・ 趣味は？ 等

なんでも結構です。皆様のご意見は集計して、時々、ホームページと「Market Solutions Review」で発表します。

ホームページ金融界の「あべれいじ」のブログへご意見をどんどん書き込んで下さい。お待ちしております。

